

簡易水道事業会計

問い合わせ 簡易水道グループ (☎5501)

収益的収支

収入は予算額に対して、執行率が86.5%となっています。また、支出の執行率は84.7%となっています。

	科目	予算額	執行額	執行率
収入	簡易水道料金	1,016万円	956万円	94.1%
	営業外収益	2,893万円	2,425万円	83.8%
	特別利益	1万円	0円	0.0%
	計	3,910万円	3,381万円	86.5%
支出	委託費	907万円	818万円	90.2%
	支払利息	388万円	310万円	79.9%
	減価償却費	2,406万円	2,016万円	83.8%
	資産減耗費	4万円	3万円	75.0%
	維持管理経費等	1,105万円	929万円	84.1%
計	4,810万円	4,076万円	84.7%	

新事業年度の経営方針

令和7年度においては、経常的な維持管理費などとして、水道メーター取り換え工事を行うほか、老朽化した管路などの計画的な整備を進めるため、道営水利施設等保全高度化事業を進めていきます。

区分	収入	支出
収益的収支	4,030万円	4,780万円
資本的収支	1億2,670万円	1億3,160万円

資本的収支

収入は、予算の大部分が企業債（借入金）で、執行率は60.0%となっています。また、支出は借入金の償還やメーター取り換え工事、工事負担金により執行率は62.5%となっています。

	科目	予算額	執行額	執行率
収入	企業債	7,780万円	4,270万円	54.9%
	補助金	1,185万円	1,098万円	92.7%
	負担金	5万円	11万円	220.0%
	計	8,970万円	5,379万円	60.0%
支出	修繕費	370万円	368万円	99.5%
	負担金	7,805万円	4,298万円	55.1%
	工事請負費	215万円	187万円	87.0%
	企業債償還金	1,060万円	1,056万円	99.6%
	計	9,450万円	5,909万円	62.5%

下水道事業会計

問い合わせ 下水道グループ (☎9052)

下水道事業では、公共下水道事業と個別排水処理施設事業を行っています。

公共下水道事業では、各家庭から排出される生活排水などを処理するため、若山浄化センターに運ぶための下水道管や処理場本体を整備するとともに、大雨時の浸水対策として、雨水を川などに排出する下水道管を整備しています。

個別排水処理施設事業では、下水道管を整備していない地域で、皆さんの希望に応じて、各家庭に浄化槽を整備しています。

●水洗化人口と水洗化率

区分	令和6年3月末	令和7年3月末	増減
水洗化人口	36,740人	36,001人	▲739人
水洗化率	87.0%	87.0%	0.0%

●個別排水処理施設事業による浄化槽設置基数

区分	令和6年3月末	令和7年3月末	増減
設置基数	102基	106基	4基

収益的収支

	科目	予算額	執行額	執行率
収入	営業収益	7億8,146万円	7億8,074万円	99.9%
	使用料	7億962万円	7億885万円	99.9%
	一般会計負担金	4,255万円	4,259万円	100.1%
	その他	2,929万円	2,931万円	100.1%
	営業外収益	9億3,184万円	9億3,036万円	99.8%
	一般会計補助金	5億3,468万円	5億3,356万円	99.8%
	長期前受金戻入金	3億7,127万円	3億7,089万円	99.9%
	その他	2,590万円	2,590万円	100.0%
	特別利益	1,948万円	1,948万円	100.0%
	計	17億3,279万円	17億3,058万円	99.9%
支出	営業費用	13億8,442万円	13億6,965万円	98.9%
	職員給与費	5,153万円	4,975万円	96.5%
	施設管理費	3億5,996万円	3億4,604万円	96.1%
	減価償却費	9億3,061万円	9億3,061万円	100.0%
	その他	4,232万円	4,325万円	102.2%
	営業外費用	2億1,878万円	2億2,320万円	102.0%
	支払利息	1億8,822万円	1億8,804万円	99.9%
	その他	3,056万円	3,516万円	115.1%
	特別損失など	551万円	4万円	0.8%
	計	16億871万円	15億9,289万円	99.0%

用語解説

- 収益的収支 料金などの収入と施設の運転や維持管理などに係る支出をまとめたもの
- 資本的収支 施設の新設や改良、企業債の償還金などに係る支出と、これに要する資金としての企業債収入などをまとめたもの

資本的収支

	科目	予算額	執行額	執行率
収入	企業債	6億1,920万円	5億3,220万円	85.9%
	負担金	2,327万円	1,839万円	79.0%
	受益者負担金等	1,623万円	1,136万円	70.0%
	一般会計負担金	704万円	704万円	100.0%
	補助金	2億4,246万円	1億9,609万円	80.9%
	一般会計補助金	1億7,006万円	1億6,767万円	98.6%
国庫補助金	7,240万円	2,842万円	39.3%	
計	8億8,493万円	7億4,668万円	84.4%	
支出	建設改良費	3億3,004万円	1億7,090万円	51.8%
	企業債償還金	12億4,388万円	12億4,388万円	100.0%
	その他	150万円	0円	0.0%
計	15億7,542万円	14億1,478万円	89.80%	

新事業年度の経営方針

維持管理経費を低減することなどを考え、効率的な施設管理を行うために必要な設備更新を重点的に行うほか、雨水管渠の整備などを計画的に実施していきます。

区分	収入	支出
収益的収支	18億250万円	16億8,380万円
公共下水道事業	17億8,105万円	16億6,149万円
個別排水処理施設事業	2,145万円	2,231万円
資本的収支	12億400万円	17億1,990万円
公共下水道事業	11億8,085万円	16億9,222万円
個別排水処理施設事業	2,315万円	2,768万円

水道事業・簡易水道事業

下水道事業

令和6年度下期財政公表

私たちの生活に欠かせない安全・安心な水の供給と生活排水の適正処理は主に水道・簡易水道・下水道事業によって行われています。市が経営するこれらの事業は、皆さんが納める使用料などにより整備、運営しています。

今号では、3月31日現在における各事業の令和6年度下期の経理状況などについてお知らせします。

※各事業における収支は、科目ごとに四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

水道事業会計

問い合わせ 水道グループ (☎⁰⁵5501)

3月31日現在、4万3,130人が生活する登別市。市の水道事業は、4万2,684人に水道水を供給しており、水道普及率は98.97%と市内ほとんどの家庭に水道水を届けています。

水道の使用区分は、『家事用』・『家事用以外』・『公衆浴場用』・『臨時用』の4つの用途に分かれており、一般家庭への供給分である『家事用』と店舗などへの供給分である『家事用以外』が大部分を占めています。

●給水戸数と給水量

用途区分	給水戸数	年間給水量
家事用	20,002戸	2,905,676立法ℓ
家事用以外	1,144戸	707,282立法ℓ
公衆浴場用	1戸	168立法ℓ
臨時用	35戸	1,823立法ℓ
合計	21,182戸	3,614,949立法ℓ
1日平均給水量		9,904立法ℓ

収益的収支

主な収入は、水道料金収入の10億2,582万円で、執行率は101.6%となっています。また、支出の執行率は93.6%となっています。

水道施設などの整備にかかる経費を除いた収支としては、収入額が支出額を1億9,870万円上回りました。

	科目	予算額	執行額	執行率
収入	水道料金	10億931万円	10億2,582万円	101.6%
	受託工事収益	1,611万円	1,315万円	81.6%
	その他営業収益	2,619万円	2,624万円	100.2%
	営業外収益	3,988万円	1億619万円	266.3%
	特別利益	1万円	0円	0.0%
	計	10億9,150万円	11億7,140万円	107.3%
支出	委託費	1億9,905万円	1億8,387万円	92.4%
	人件費	1億3,736万円	1億3,390万円	97.5%
	支払利息	7,830万円	7,697万円	98.3%
	減価償却費	4億311万円	4億530万円	100.5%
	資産減耗費	1,741万円	1,682万円	96.6%
	維持管理経費等	2億367万円	1億5,584万円	76.5%
	計	10億3,890万円	9億7,270万円	93.6%

資本的収支

収入は、予算の大部分が企業債（借入金）で、執行率は89.8%となっています。また、支出は配水管の整備や水道メーターの購入、借入金の償還などにより8億5,011万円となり、執行率は83.8%となっています。

	科目	予算額	執行額	執行率
収入	企業債	3億9,740万円	3億5,720万円	89.9%
	負担金	2万円	0円	0.0%
	補助金	58万円	36万円	62.1%
	計	3億9,800万円	3億5,756万円	89.8%
支出	工事請負費	4億5,866万円	3億7,631万円	82.0%
	企業債償還金	3億2,902万円	3億2,902万円	100.0%
	人件費	3,708万円	2,481万円	66.9%
	量水器購入費	4,896万円	4,722万円	96.4%
	修繕費	415万円	408万円	98.3%
	委託費	9,786万円	6,783万円	69.3%
	その他経費	3,817万円	84万円	2.2%
	計	10億1,390万円	8億5,011万円	83.8%

新事業年度の経営方針

4月から令和7年度の事業が始まっていますが、経常的な維持管理などに加え、配水管改良工事を行います。

区分	収入	支出
収益的収支	10億9,690万円	10億4,310万円
資本的収支	3億7,370万円	9億4,970万円